

令 和 6 年 度

歳入歳出決算の概要説明

危機管理部

危機管理部長の中村でございます。
どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、御審査をいただくにあたりまして、令和6年度の危機管理部の決算の概要について、御説明申し上げます。

まず、決算の概要につきまして、一般会計の歳入額は、
予算現額 28億7,319万8,000円
調定額 28億1,278万6,723円
収入済額 28億1,278万6,723円
となっております。なお、不納欠損額及び収入未済額はございません。

一般会計の歳出額につきましては、
予算現額 51億6,534万3,000円
支出済額 48億2,596万8,103円
翌年度繰越額 1億9,666万6,000円
不用額 1億4,270万8,897円
となっております。

不用額の主なものは、物価高騰対策として実施したLPGガス料金高騰対策支援事業に係る経費のほか、市町村における防災体制や対策の充実・強化を支援するわかやま防災力パワーアップ補助金などの執行残でございます。

続きまして、「令和6年度主要施策の成果」に基づき、

主な事業の概要について御説明申し上げます。

「令和 6 年度主要施策の成果」の 13 ページをお開き願います。

危機管理消防課では、

「消防救急デジタル無線運営事業」として、大規模災害発生時における消防活動体制を確保するため、消防救急デジタル無線システムの再整備工事を令和 6 年度から本年度にかけて行っています。

この事業に係る決算額は、6 億 7, 641 万 8 千円でございます。

次に 14 ページをお開き願います。

「L P ガス料金高騰対策支援（第 3 期）事業」及び「L P ガス料金高騰対策支援（第 4 期）事業」として、L P ガス料金高騰の影響を受けた県内一般消費者等の利用料金に対する支援を実施しました。

これらの事業に係る決算額は、それぞれ
12 億 3, 676 万 6 千円と 10 億 2, 668 万 8 千円でございます。

同じく 14 ページにおきまして、

防災企画課では、

「総合防災情報システム運営事業」として、災害現場等における情報を迅速に伝達し、関係機関が共有するための通信手段として整備している全県移動系防災行政無線設備に

ついて、更新を行うとともに回線の多重化による機能強化を図りました。

この事業に係る決算額は、4億3,339万1千円でございます。

次に、「わかやま防災力パワーアップ事業」として、市町村における防災体制や対策の充実・強化を図るため、避難路の整備や避難所における資機材の整備などの防災・減災対策に総合的な支援を行いました。

この事業に係る決算額は、1億3,670万4千円でございます。

次に15ページをお開き願います。

災害対策課では、

「防災訓練の実施事業」として、令和6年10月16日に和歌山県総合防災訓練を、同年11月5日を中心に「世界津波の日」地震・津波避難訓練を実施するなど、応急対策等に係る実践的な訓練を実施しました。

この事業に係る決算額は、456万9千円でございます。

次に、「防災ヘリコプター運営事業」として、防災ヘリコプター「きしゅう」を運航し、県防災航空隊による緊急運航要請への迅速な対応を行いました。令和6年度の運航実績は216回で、内訳は、救急や遭難・救助などの緊急要請による運航が51回、訓練等による運航が165回となっています。

この事業に係る決算額は、3億7,016万2千円でござります。

以上で、令和6年度の危機管理部からの概要説明を終わらせていただきます。

何卒、御審議の程、よろしくお願ひ申し上げます。